

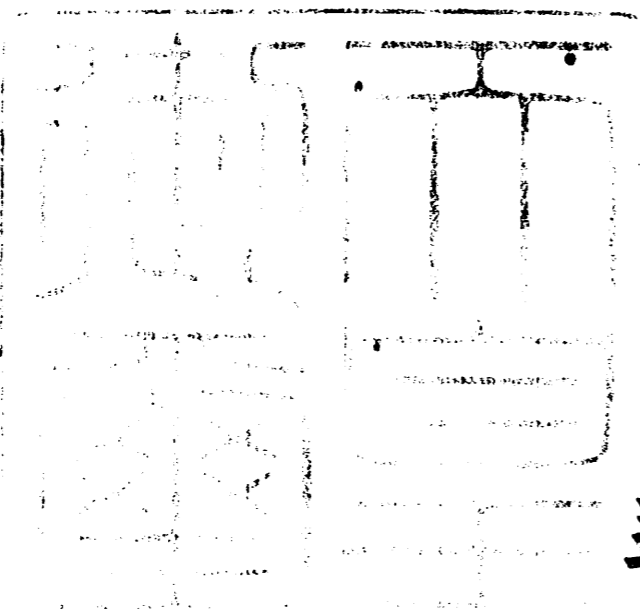
詔書

大義ヲ八紘ニ宣揚シ坤輿ヲ一宇
タラシムルハ實ニ皇祖皇宗ノ大
訓ニシテ朕が夙夜眷々措カザル
所ナリ而シテ今ヤ世局ハ其ノ騷
亂底止スル所ヲ知ラズ人類ノ蒙
ルベキ禍患亦將ニ測ルベカラザル
モノアラントス朕ハ禍亂ノ戡定
平和ノ克復ノ一日モ速ナランコトニ
軫念極メテ切ナリ乃チ政府ニ命ジ
テ帝國ト其ノ意圖ヲ同ジクスル

獨伊兩國トノ提攜協力ヲ議セシ
メ茲ニ三國間ニ於ケル條約ノ成
立ヲ見タルハ朕ノ深ク懌グ所
ナリ
惟フニ萬邦ヲシテ各、其ノ所ヲ得シ
ノ兆民ヲシテ悉ク其ノ堵ニ安ンゼ
シタルハ曠古ノ大業ニシテ前途甚
ダ遠遠ナリ爾臣民益々國體ノ觀
念ヲ明徴ニシ深ク謀リ遠ク慮リ
協心戮力非常ノ時局ヲ克服シ以

テ天壤無窮ノ皇運ヲ扶翼セヨ

裕仁



昭和十五年九月二十七日

内閣總理大臣公爵近衛文磨

農	鐵	司	厚	大	大	商工	文	外務	陸軍
林	道	法	生	藏	藏	大臣	部	務	大臣
大臣	大臣	大臣	大臣	大臣	大臣	臨時代理	大臣	大臣	
石	村	風	安	河	河		橋	松	東
黒	甲	見	井	田	田		田	長	條
忠	有	章	英	烈	烈		邦	洋	英
篤	藏		二				彦	右	機

海軍大臣 及川古太郎
 企畫院總裁 星野直樹